



項目		確認事項	チェック
<b>▶会場の環境</b>			
密閉	換気の実施	【屋内のみ】 入口のドアや窓を開け、換気扇を回すなど、定期的に換気を行うこと。 ※こまめにエアコン温度を調整し室内温度を確認するなど熱中症予防についても注意すること ※寒冷な場面においても換気を実施すること（別紙10参照）	□
	対人距離	イベントの態様に応じた適切な距離を確保すること ※別紙「イベント等の開催に係る人数上限・収容率の目安」参照 ※同一の観客グループ（5名以内）は座席を空ける必要はない	□
密集	対人距離	入退場時、待合場所等の密集を回避すること。（例、時間差での入退場 等）	□
	入場制限	入場人数や滞在時間を制限すること。	□
密接	対人距離	入退出時や集合場所等における十分な間隔を確保すること。	□
	手洗い・消毒	会場の入口等に消毒設備を設置すること。 また、参加者へ十分な手洗いを徹底するよう案内すること。	□
		主に参加者の手が触れる場所を定期的に消毒すること。	□
<b>▶開催時の対応</b>			
発熱等の対応		入場時等に検温を実施し、発熱がある者は参加を認めないこと	□
		その他、風邪や味覚障害等の症状の有無を確認し、具合の悪い方には、参加を認めないこと。	□
マスクの着用等		マスクの着用やこまめな手洗い、咳エチケットを徹底すること。 また、マスクを着用していない者がいた場合、個別に注意等ができること。 （マスクを持参していない者がいた場合は主催者側でマスクを配布する。但し乳幼児等特別の事情がある場合を除く） ※マスク着用については、熱中症予防についても注意すること。	□
音響調整		大声での会話が行われないよう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること。	□
大声を出さないことの担保		大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができること。 ※隣席の者との日常会話程度は可（マスク着用が前提） ※演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）	□
演者・観客間の接触		演者・選手等と観客が接触しないよう確実な措置を講じること。	□
共有物の管理		共有して使用した物の適正な管理（廃棄や洗濯、消毒の徹底等）を実施すること。	□
廃棄物の処理		ゴミ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉する。また、回収時にはマスクや手袋を着用する。	□
人員配置		「三つの密」の回避等、感染防止の対応に人員の配置が必要な場合、人員を確保し適切に配置すること。	□
飲食の制限		休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底をすること。 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食を制限すること。 食事の提供は、大皿などでの取り分けは避け、パッケージされた軽食を個別に提供する等の工夫をすること。	□
連絡先把握		可能な限り事前予約制とし、事前予約時または入場時に、利用者の連絡先を把握すること（個人情報の取扱いに十分注意） ※接触確認アプリを活用する場合には不要	□

※ チェックリストの対応ができない場合、代替措置を講じ、施設管理者と協議、了解を取ること。